

文学作品におけるアスペクト助詞「了」について ——ノーベル文学賞受賞作家莫言の《豊乳肥臀》を中心に——

文 楚雄ⁱ

本論は、ノーベル文学賞受賞作家莫言の《豊乳肥臀》作品におけるアスペクト助詞「了」について考察している。「了」は中国語を学習する人にとっては、とてもマスターしにくい文法の1つである。完了や実現などの意味を表す時にアスペクト助詞「了」を使うが、この「了」は、文中の述語に置いたり文末に置いたりすることができるので、どこに置くべきかはとても悩むのである。多くの研究者は様々な視点から探究し、数えきれないほど多くの論文を発表している。しかし、残念ながらこれらの探究は学習者に簡単に応用できる解明になっているとは言い難いのが現状である。「了」は依然として学習者や研究者を悩ませる難問の1つとなっている。文学作品における「了」の使用は多岐にわたっており、もっとも代表的な使い方となっている。文学作品における「了」の使用状況を考察し、使用傾向や特徴を明らかにすることにより、「了」全体の解明につなげていけるかと考えている。

キーワード：アスペクト助詞、「了」、完了実現、新状況の出現

はじめに

「動作行為の完了実現」、「変化や新状況の出現」などの意味を表す中国語のアスペクト助詞「了」は、構造上ではそれほど難しいことではない。中国語の原文を読む時にはあまり迷うことがないかと思う。しかし、他方、日本語の文を中国語に訳したり、中国語で作文したりする時には正しく使えないことがよく発生する。これは、中国語のテンス・パーフェクトの体系が日本語や英語のそれと異なることにより、「了」はこれらの言語と簡単に比較対照できない複雑な用法があるからである。これまでに研究者たちが様々な角度から研究を行い、数えきれないほど研究論文を発表している。どれも素晴らしい探究となっ

ている。しかし、残念ながらこれらの探究は学習者に簡単に応用できる解明になっているとは言い難いのが現状である。「了」は依然として学習者や研究者を悩ませる難問の1つとなっている。「了」を用いた構文を整理すると、下記ようになる。

文中の述語（動詞、結果補語を伴う動詞句、形容詞）の後に置き、「～了～」の構文となる。この場合の「了」は一般的に「了₁」と呼ぶ。文中の述語の後に置かず、文末に「了」を置き、「～了。」の構文となる。この場合の「了」は一般的に「了₂」または「了₁₊₂」と呼ぶ。文中の述語の後にも文末にも「了」を置き、「～了₁～了₂。」の構文となる¹⁾。

このように「了」の構文は意外に単純で、複雑な構造はない。意味も、日本語の「……た」「……ていた」「……ている」にあたり、理解しづらいこともない。したがって、中国語の原文を読んだり聞いたりする時には、前後の関係から文の意味は基本的に正

i 立命館大学産業社会学部特別任用教授

確に理解でき、訳文も適切に「……た」「……ていた」「……ている」に使い分けて訳することができる。とくに大きな問題はない。しかし、他方、日本語の「……た」「……ていた」「……ている」などの文を中国語の文にする時には、この「了」は難しくなる。要するに「了」は文中の述語の後に置くべきか、文末に置くべきか、それとも両方に置くべきかは、とても悩み、「了」の使い方が分からなくなる。「了」はどこに置いても意味が同じことではなく、置く位置によって意味が微妙に違う。「了」は置くべき位置に置かなければならない。これが難問となっているのである。さらに「動作行為の完了実現」であっても、述語動詞の後に「了」を置いてはいけない場合がある。

本論は、文学作品におけるアスペクト「了」の用法が多岐にわたっており、「了」用法の全貌が見えてくると仮説し、ノーベル文学賞受賞作家莫言の《豊乳肥臀》に絞り、「了」の使い方を調査研究し、文学作品における「了」の使い方の傾向や特徴を明らかにする。これによって「了」用法の全体の解明につなげていきたいと考えている。これが本論の目的である。

I, 「了」が表している意味

本論では文中の述語に置く「了」は「了₁」、文末に置く「了」は「了₂」と呼ぶことにする。ここでは、これまでの研究で明らかにされてきたアスペクト助詞「了」の表している意味を整理しておく。文楚雄の「政論文体におけるアスペクト助詞『了』について」では、下記のように整理している²⁾。

文中の述語の後に置く「了₁」は、①動作行為の完了実現を表す、②動作行為を行った時の時間・数量・程度を表す、③動作行為が繰り返されたことを表す、④動作行為の完了及びその完了による結果を表す、⑤動作行為完了後の状態がそのまま残っていることを表す、⑥動作行為の実現を表すと同時に、動作・行為・状態の始まりをも表す、⑦アスペクト助

詞「过」の後にさらに「了₁」を置く場合があると、論じている。

後続する述語文節や単文の条件を表す「了₁」については、①動作・行為・状態の仮定条件を表す、②行為・状態の順序を表す、③動作行為の未来完了・実現を表すと述べている。

動作・行為・状態が完了実現であっても、述語には「了₁」を置いてはいけないことについては、①心理的な状態を表す動詞「希望、想念、喜欢」など、②判断の意味を表す動詞「是」など、③主張の意味を表す動詞「主张、认为」など、④近似の意味を表す動詞「像、等于」など、⑤使役の意味を表す動詞「让、叫」など、⑥発話者の話を直接引用する時の動詞「说、道」など、⑦2つの動詞が並列して述語になる場合、前の動詞の後には「了₁」を置かない、⑧「去/来(場所)+動詞」の文型においては、普通「去/来」の後には「了₁」を置かない、⑨続いている状態を説明する文においては、述語動詞の後には「了₁」を置かない、⑩動詞の前に願望や可能の意味を表す助動詞がある場合、助動詞と動詞の間には「了₁」を置かない、⑪否定の意味を表す副詞「不、没有」がある場合、述語動詞の後に「了₁」を置かない、⑫動詞の前に進行や継続、反復や頻度を表す副詞がある場合、動詞の後には「了₁」を置かないと、指摘している。

文末に置く「了₂」については、①新しい状況や変化が起きている、②自然現象において、新しい状況や変化が起きている、③動いている状態から静止状態に変化している、④事柄の状態や性質に変化が起きている、⑤事柄に変化や新しい状況が起きているが、その変化した状態や動作がそのまま続いていく、⑥元の決定や計画或は願望などに変化が起きている、⑦動作行為に関わる時間・数量の状況や変化を表す、⑧変化を表すと同時に、後ろに来る単文との因果関係や逆接関係を表す、⑨完了・実現の「了₁」と、新状況出現の「了₂」の両方を兼ねる、⑩新状況や変化がこれから起きる、あるいは完了実現していない状況が続いていることを表す、⑪禁止、命

令、勧誘、反問などの意味を表すと、論述している。

Ⅱ、文学作品における「了」の使用

文学作品では景色などの描写があったり、人物の会話があったりして、アスペクト助詞「了」が頻繁に使われ、意味も多岐にわたっている。アスペクト助詞「了」を考察するには、文学作品は最適かと思う。本章では、ノーベル文学賞受賞作家莫言の《豊乳肥臀》作品におけるアスペクト助詞「了」の使用状況を調査考察し、その用法や意味を確認する。中国語の原文は浙江文艺出版社が出版したものを使用する³⁾。引用した用例の日本語訳は日本語版《豊乳肥臀》⁴⁾による。

2-1、文中の述語の後に置く「了₁」

2-1-1、動作行為の完了実現を表す。

「了₁」は文中の述語の後に置き、動作行為の完了実現の意味を表す。文学作品においては、このような用法はもっともよく見られる。次の用例を見てみよう。

【1】他们把一马车鞭炮连接成十挂鞭炮，缠绕在八棵大槐树上，又砸了₁二十几口生铁锅，挖出了₁爆破大队埋藏在地下的火药，制成₁一个大花炮。那些鞭炮响了₁足足半夜，把八棵槐树上的绿叶和树枝炸得干干净净。那个大花炮喷出的灿烂的烟花，照绿了₁半个天空。他们杀了₁几十口猪，宰了₁十几头牛，挖出了₁十几口陈酒。肉煮熟了，用大盆盛着，放在大街的桌子上。（P181 浙江文艺社）（馬車一台分の爆竹を一本に繋ぎ、八本のえんじゅの大木に巻き付けたうで、鉄鍋を二十個あまり砕いたのと、鉄道爆破大隊が地下に埋めておいたのを掘り出した火薬とで、とてつもない仕掛け花火を作った。爆竹はたっぷり夜中までつづき、えんじゅの木の葉と枝をきれいさっぱり吹き飛ばしてしまった。仕掛け花火から噴き上がった燦然たる鉄の花火は空の半ばを緑に染めた。屠殺した豚が数十匹に牛が十数頭。掘

り出した古酒の瓮が十数個。肉はよく煮たのを大皿に盛って、通りの真ん中のテーブルに置いた。P321, 平凡社〈上〉）

四角括弧で示しているように、例【1】では、「了₁」は8回使っている。どれも動作行為の完了実現の意味を表している。「了₁」の後に目的語や補語を伴っている。日本語訳では、必ずしも原文と対応していないが、「……た」は原文より多く使っている。

【2】先是巫云雨踢了₁郭恩平一脚，郭恩平回了₁他一拳。然后两个人便滚在一起。郭恩平撕下了₁巫云雨视为命根的帽子，把他的秃疮头抓得像个烂土豆，巫云雨的拇指伸进郭恩平的嘴角，使出吃奶的劲儿往外撕，把他的嘴角撕开了₁一个口子。两股红卫兵一见头儿动了₁手，便打起来了₁群架。一时间棍棒齐下，砖瓦横飞，红卫兵们头破血流，都表现出₁宁死不屈的精神。巫云雨的手下干将魏羊角用一杆铁头红缨枪，连捅了₁两个人，把肠子都戳破了，流出₁一些血和糊状物。郭恩平和巫云雨退居二线，指挥战斗。（P458 浙江文艺社）（先に巫雲雨が蹴飛ばしたのに、郭恩平が殴り返した。ついで、二人はもつれ合ったが、郭恩平は、巫雲雨が命から二番目に大事にしている帽子をむしり取り、瘡掻き頭を掻きむしって、腐ったジャガイモみたいにした。巫雲雨のほうは親指を相手の口に突っ込み、必死の力で外向けに引くと、口元が裂けた。頭目が手を出したのを見て、紅衛兵の両派は集団で喧嘩を始めた。棍棒が振り下ろされ、瓦が飛ぶ。紅衛兵たちは血を流しながら、死を物ともしない精神を発揮した。巫雲雨の手下の中核・魏羊角が、鉄の穂先をかぶせた赤い房つき槍で、つづきさまに二人を突き刺し、腸が破れて、血と糊状の物が流れ出た。郭恩平と巫雲雨は、第二線に退いて戦闘を指揮している。P163, 平凡社〈下〉）

四角括弧で示しているように、例【2】では、完了実現の「了₁」は9回使用している。どれも動作

行為の完了実現の意味を表している。日本語訳では、必ずしも原文と対応していないが、「……た、……ている」は9回ほど使っている。

【3】不知过[了₁]多长时间, 从前边的黑暗地道里, 传来[了₁]咻咻的喘息声, 母亲抓起一把打铁的铁钳, 一口吹熄洞壁窝里的灯盏, 洞内顿时漆黑。我哭起来。母亲用一只奶头堵住[了₁]我的嘴。我感觉那奶头冰冷、僵硬、失去[了₁]弹性。还有一股又咸又苦的味道。(P112 浙江文艺社)(どれほどの時間が経ってからか、前方の暗いトンネルから、ハアハアという喘ぎが聞こえてきた。鍛冶屋の金鉋を掴んだ母親が、洞窟の壁のくぼみの灯火皿をふっと吹き消すと、洞内はたちまち真の闇と化した。私が泣き出すと、母親は、片方の乳房を私の口に含ませた。乳首は冷たくて弾性を失って硬く、おまけにしょっぱくて苦い味がした。P201-202, 平凡社〈上〉)

例【3】では、「了₁」は4回使っている。どれも完了実現の意味を表している。日本語訳はそのままには対応していないが、「……た」は4回使っている。

【4】八姐事后对我说她听到三姐落地时发出[了₁]清脆的声音, 好像摔碎[了₁]一块玻璃。兴高采烈的人群都发[了₁]呆, 脸上结[了₁]一层冰霜, 眼里蒙上[了₁]烟雾。(P197 浙江文艺社)(後になって、自分は三姐が落ちたときの乾いた音を聞いたと八姐は私に言ったが、そのときわたしは、八姐の目尻にびっしりついた細かな涙の粒を見ていた。喜びに沸いていた人々は呆気にとられ、顔を曇らせ、目に戸惑いの色を浮かべた P346, 平凡社〈上〉)

例【4】では、「了₁」は5回使っている。どれも動作行為の完了実現の意味を表している。日本語訳も「……た」を5回ほど使っている。

【5】母亲上前, 摸起一个碗, 用袖子擦擦灰土, 抄起木勺, 盛上一碗汤, 递给大姐。大姐不接。母亲说:

“这碗是我的。”她往碗里吹[了₁]几口气, 试探着喝[了₁]一口, 又试探着喝[了₁]几口。母亲又盛[了₁]三碗汤, 递给六姐八姐和司马少爷。(P165 浙江文艺社)(母親が進み出た。碗を手にとると、袖で埃を払っておいて、杓子を取って汁粉をよそい、大姐に差し出したが、受け取らないので、「じゃ、これは私がもらうよ」と言って、フウフウ吹いてからためしにひと口啜り、つづいて二口三口と啜った。ついで、六姐と八姐と司馬家の息子にもよそってやる。P294-295, 平凡社〈上〉)

例【5】では、「了₁」は4回使っている。日本語訳は違う対応をしている。

2-1-2, 未来の完了実現を表す。

「了₁」は、動作行為の完了実現の意味を表すが、それは必ずしもすでに終わったものではなく、ある条件などが成立すれば、そのようになる、すなわち未来の完了実現の意味を表すのである。次の用例を見てみよう。

【6】母亲说：“两条路你选。”司马库问：“两条什么路？”母亲说：“听着，第一条路，娶[了₁]她，为大还是为小还是不分大小，你跟二嫂去商量；第二条路，杀[了₁]她！”(P219 浙江文艺社)(「道は二つ、どっちを選ぶかじゃ」「ふたつとは?」「よく聞きなさい。第一の道は、あれを嫁にすることじゃ、正妻になおすか、妾にするか、どっちとも決めないでおくか、それはあんたといまの嫁さんの二姐との相談次第じゃ。第二の道は、あれを殺すことじゃ!」P385, 平凡社〈上〉)

四角括弧で示している例【6】の「了₁」は、動作行為の完了実現の意味を表すが、これはすでに終わった行為ではなく、これから起こす行為になるのである。すなわち未来の完了実現の意味を表している。

【7】“就这样吧，明天卖^了它。”母亲说着，往屋里走去。从我们身后，传来一声响亮的呼唤：“干娘！”(P83 浙江文艺社) (「じゃ、そうするよ。明日これを売るからね」と言いながら、母親が部屋の中に入りかけると、背後から太い声が呼び掛けた。「乾娘 [義を結んだ母親] !」 P148, 平凡社〈上〉)

四角括弧で示している例【7】の「了₁」の行為はまだ完了実現しておらず、これから行っていくのである。

【8】蒋政委说：“太应该了，你看你的脸，快成^了干茄子了啦。老张，赶快给沙太太盛碗汤，要稠的。”(P166 浙江文艺社) (「ぜひそうしなさい。その顔，もうじき干し茄子になりそうだ。老張，沙夫人に一杯よそってあげなさい，急いで，濃いめのを」 P297, 平凡社〈上〉)

例【8】の「了₁」が示している行為や状態はすでに完了実現したのではなく、今なりつつあることを表している。

2-1-3, 後続する述語文節や単文の条件を表す。

「了₁」は文中の述語に置いてあるが、その文の行為動作の完了実現の意味を表すのではなく、後続する述語文節や単文の条件を表すのである。文学作品にはこのような用法が時々見られる。次の用例を見てみよう。

【9】老人痴呆呆地看着他们，连连鞠躬。老邓说“您把我们送回去，我们砸^了锅卖^了铁，典^了老婆卖^了孩子，也要凑足盘缠，把您送回来，您要不愿回来，我们就把您当爹养着，有我们吃的，就有您吃的，谁要胆敢反悔，说话不算数，谁就不是人养的！”(P395 浙江文艺社) (老人はぼんやりと三人を見ていたが、つづきさまにお辞儀をした。老鄧が言った。「送り返してくれたら、われらは鍋を売り女房を質に入れても、あんたのもどりの旅費は工面する

から。あんたが戻りたくなければ、あんたを父親として養おう。一つのを二つに割って分け合うとも、食うものに不自由はさせん。この中でこのことばを裏切るようなやつがおったら、それこそ犬畜生じゃわい！」 P55, 平凡社〈下〉)

四角括弧で示しているように、例【9】の「了₁」は動作行為の完了実現の意味を表すのではなく、後続する文の仮定条件を表している。「了₁」の文は「……ても」といった意味になる。

【10】狗急^了跳墙，猫急^了上树，兔子急^了咬人，哑巴急^了说话。(P240 浙江文艺社) (犬は追い詰められて塀を飛び越え，猫は追い詰められて木に登り，兎は追い詰められて人を咬み，哑巴は追い詰められて物を言った。 P423, 平凡社〈上〉)

例【10】の四角括弧で示している「了₁」は、後続する述語文節の仮定条件となっている。「了₁」は「……たら」といった意味になる。

【11】我的思想斗争很激烈。吃草的继续吃草，看蚂蚁的继续看蚂蚁，蹭的继续往前蹭，白奶羊像贵族，黑奶羊像寡妇，他们食欲不佳，菜太多^了人不知该吃什么菜，草太多^了羊不知该吃什么草。(P190 浙江文艺社) (私は頭の中で激しく迷った。草を食むやつ，蟻を観察するやつ，居去るやつ，みんなてんでに好きなことをしている。貴族のような白山羊も，後家のような黒山羊も，食欲があまりない。草が豊富すぎるのだ。料理が多すぎると，なにを食べたらよいのか分からなくなる。それとおなじ理屈だ。 P333, 平凡社〈上〉)

例【11】の「了₁」は、後続する文の仮定条件を表している。「了₁」は「……れば」といった意味を表す。

【12】他佯装听不见，眼睛望着脚前的地面和人们的

脚后跟，“游完^了₁街去找我。”他听到老金说。他心中纷乱如麻，对老金不合时宜的撩拨感到深深的厌恶。(P451 浙江文艺社) (私は、目の前の地面と、みんなの踵を見つめたまま、聞こえぬ振りをした。これがすんだら、お出で、と金が言うのが聞こえた。心が混乱し、この場合に挑発してくる片乳の金を、心底から憎んだ。P151, 平凡社〈下〉)

例【12】の「了₁」は後続する文の仮定条件を表している。「了₁」は「……たら」といった意味を表す。

【13】二姐上官招弟有些不满地说：“把黑驴和小骡子卖了吧。”母亲抢白道：“卖^了₁黑驴和骡子，明年开春，用什么种地？”(P83 浙江文艺社) (「ロバとラバの子を売ればいいのに」と、二姐の招弟が、いささか不満げに言った。「ロバとラバをそのまま売ったら、来年の春、どうやって畑を耕すのかね?」と、母親がやり返した。P147, 平凡社〈上〉)

例【13】の「了₁」も、後続する文の仮定条件を表している。「……たら」といった意味になる。日本語訳もその通りに訳されている。

【14】乔其莎和男右派跑上去，他们摸^了₁他的脉搏，翻^了₁他的眼皮，捏^了₁他的人中和合谷，但都无济于事。男右派冷漠地说：“完了，心肌梗塞。”(P431 浙江文艺社) (喬其莎ともう一人、右派分子の男の医者が駆け寄った。二人は脈を探り、験を返して見たあと、人中〔鼻の下のくぼんだツボ〕と合谷〔人差し指と親指の合流場所のツボ〕とを押ししてみたが、何の効果もなかった。男の右派分子が冷淡に言った。「おしまいです。心筋梗塞だ」P119, 平凡社〈下〉)

例【14】の四角括弧で示している「了₁」は、後続する文の逆接関係を表している。日本語訳も逆接の意味に訳されている。

2-2, 文末に置く「了₂」

文末に置く「了₂」は変化や新しい状況が起きている、あるいはこれから起きることを表す。文学作品ではこのような用法がよく見られる。本論でいう文末は、並列する単文の文末も従属文の文末もこの分類に入る。

2-2-1, 新状況や変化が起きていることを表す。

文末に置く「了₂」は新しい状況や変化が起きていることを表す。次の用例を見てみよう。

【15】一只金钱豹子在山谷里，嘴里叼着一个小孩子，头重脚轻地跳跃着，从这块卵石蹦向那块卵石，它在连续不断的跳跃中求平稳。一个披头散发的女人，哭号着追赶豹子。她在结着冰的大卵石上连滚带爬，生死不怕，跌倒了爬起来，爬起来又跌倒，下巴碰碎^了₂，门牙碰掉^了₂，后脑勺上渗出了黑血，指甲盖扒裂^了₂，脚脖子扭伤^了₂，胳膊脱臼^了₂，五脏六腑颠成一团，但她还是追赶，追得那豹子喘息不迭。最后她拽住了豹子的尾巴。(P282 浙江文艺社) (谷間では口に子供を銜えた豹が一頭、安定した居場所を求めて、頭を下げながら丸石から丸石へと、軽々と跳んでいる。髪の毛を振り乱した女が、泣き叫びながらその後を追う。氷結した丸石をつたって、死に物狂いで転んでは這い起き、転んでは這い起きするうちに、顎は砕け、前歯は折れ、後頭部からは黒血を流し、爪は割れ、足首は挫き、腕は脱臼し、五臓六腑はもつれて一つになったが、それでも女は豹に息をつかせず追いつづけ、とうとうそのしっぽにとりついた。P499, 平凡社〈上〉)

四角括弧で示しているように、例【15】の「了₂」は5つの単文の文末に置かれている。どれも新しい状況や変化が起きていることを表している。この新しい状況の出現や変化は行為動作の完了実現のことでもある。

【16】这段时间里，母亲的乳汁优质高产，上官金童

终于从棉布口袋里跳出来，能走二十步了²，能走五十步了²，能走上一百步了²，终于不爬行了²。我的笨拙的嘴也灵活了²，能流利地骂人啦。孙家大哑巴捏住我的小鸡吧时，我怒骂一声：“操你妈！”（P146 浙江文艺社）（その頃は母親の乳も、質量ともによくなり、わたし上官金童はついに綿の袋から跳びだして、二十歩、五十歩、百歩と歩けるようになり、這い這いも止めた。不器用な口も動くようになり、達者に人を罵れるようになった。孫家の大哑巴がわたしのチンポコを掴んだりすると、すぐさま罵声を浴びせた。「おまえのお袋と寝てやるぞ！」P259, 平凡社〈上〉）

四角括弧で示しているように、例【16】の「了²」は5つの単文の文末に置かれ、どれも新しい状況や変化が起きていることを表している。日本語版では「……た」などに訳されている。

【17】狗群稳稳往前逼，它们显然非常清楚，面前这个一身白肉的长家伙，已经临近精神崩溃，身体瘫痪的边缘。他倒退的脚步已经越来越不利落了²，他的腿已软得像弹簧一样²，他的上身已经摇摇晃晃²，他手中攥着的黑石头就要滑落了，腥臊液体已经吓出来²。退吧，退吧，退到那道台阶，你就会跌倒，那时我们就来消化你。上官金童的眼睛花了²。石头从他的手中滑落²。他感到自己就要彻底地解脱²。想不到上官金童竟落了个葬身狗腹的下场。他疲乏地想了一下母亲，又想了一下老金那敢于压倒一切男人而决不被男人所压倒的独立的独乳，别的连想都懒得想²。跌坐在台阶上之后，他只求狗们把自己吃得干净一点，不要留下一条腿什么的，一点痕迹别留，连血都舔干净，就让上官金童神秘地消失吧……（P520 浙江文艺社）（犬どもは、ゆっくりと迫ってきた。明らかに連中には分かっているのだった、目の前のこの白い肉をした長いシロモノが、もはや精神の破滅と肉体崩壊の崖っぷちにあることが。後ずさりするわたしの足取りは、ますますおぼつかなくなつた。足はバネみたいで力が入らず、上半身は

すでにグラグラと揺れ、握りしめた石ころは手から滑り落ちそうで、臭い液体が漏れ始めていた。退れ、退れ。あの石段まで追い詰めたら、転ぶはずだ。そうしたら、おれたちが片付けてやるさ。目がくらみ、石ころが手から滑り落ちた。わたしは、自分がもうじき解脱する、とことん解脱するのだと感じた。なんと、上官金童が犬の腹の中に葬られようとは。思い寄らぬこのザマだった。疲れ切ったわたしは、母親を思い浮かべ、あらゆる男をねじ伏せておいて、男にねじ伏せられることの決してない老金の片乳を思い浮かべたが、ほかのことは考えるだに面倒だった。石段の上にへたり込んだわたしは、犬どもにきれいさっぱり片付けて欲しかった。足だのなんだのも残さず、わずかな痕跡も留めず、血まできれいに舐め取って、上官金童をこっそりと消してくれ…… P266, 平凡社〈下〉）

例【17】は長い引用文となっている。四角括弧で示しているように、「了²」は8つの単文の文末に置かれている。新しい状況や変化が起きていることを表している。日本語版では一々対応していないが、「……た」などに訳されている。この変化や新状況の出現は動作行為の完了実現を前提としている。

【18】咕咕咚咚地，身体大起大落，气盖山河的架势，是力量与钢铁的较量，女人跟男人的较量，那铁在她的大锤打击下像面条一样变化着，扁了²，薄了²，青了²，纯了²，渐渐地成型了²。（P591 浙江文艺社）（ドスン、ドスンという音ともに、躰が大きく上下する。山河を呑む気概とでも言うか、人の力と鉄との闘いであり、女と男の闘いであった。女の大槌に打たれて、鉄はうどんのように姿を変えた。P389, 平凡社〈下〉）

四角括弧で示しているように、例【18】では「了²」は5回も使っている。述語の後に置かれているが、どれも状態の変化が起きていることを表している。日本語版ではまとめて「……た」に訳されている。

【19】“娘，娘，”六姐兴奋地喊着，“金童能吃羊奶了₂！金童吃羊奶了₂！”(P192 浙江文艺社)（「お母さん，お母さん！」と六姐が嬉しげに叫んだ。「金童が山羊の乳を飲んだよ！金童が山羊の乳を飲んだよ！」P338，平凡社〈上〉）

四角括弧で示しているように，例【19】の文末に置いた「了₂」は，今までなかった新しい現象が起きていることを表している。すなわち「金童という人物が山羊の乳を飲むようになった」という新現象が出現した。

2-2-2，これから起きる新状況や変化を表す。

文末に置く「了₂」は，新しい状況や変化が起きていることを表すが，その新状況や変化はすでに起きたのではなく，これから起きる，あるいはある条件が成立したら起きることを表す。次の用例見てみよう。

【20】马瑞莲把满肚皮鸟气全撒在乔其莎身上：“你干不干？不干的话，这个月的粮票我可要全部扣发了₂。”(P417 浙江文艺社)（馬瑞蓮は，胸のむしゃくしゃを，まるごと喬其莎にぶちまけて，「あんた，やるの，やらないの？やらないのだったら，今月の食料切符は全部差し押さえますからね」P91，平凡社〈下〉）

例【20】の四角括弧で示しているように，文末の「了₂」は，新しい状況や変化がこれから起きることを表している。

【21】母亲说：“大侄子，穿上鞋，往家跑，快跑，跑出汗来才行，要不你就死定了₂。”但是他的手指冻僵，穿不上鞋了。几个被母亲感染了了的百姓，七手八脚把袜子鞋子套在房石仙脚上，然后架起他来就跑。他的腿像棍子一样不会弯曲，拖拖拉拉的。(P454 浙江文艺社)（「あんた，布鞋を穿いて，家まで駆けるのじゃ。急いで，汗が出るまでな。さもないと，必ず死ぬぞ」と母親は言ったが，手がかじかんで，布鞋

が穿けない。母親の行為に感動した見物が数人がかりで，どうにかこうにか，鞋下と布鞋を房石仙の足にかぶせると，両脇から支えて駆け去った。足が棒のように曲がらないらしく，引きずられるような格好だった。P156，平凡社〈下〉）

四角括弧で示しているように，例【21】文末の「了₂」が表している新現象や変化は，すでに起きたのではなく，条件が成立したら起きることを表している。

【22】上官寿喜从屋里跑出来，哭叫着：“娘啊！她要死了₂，她要死了₂，去请孙大姑吧……”(P45 浙江文艺社)（家の中から飛び出てきた上官寿喜が，泣け叫んだ。「お母！魯氏が死にそうじゃ。孫大姑を呼んできてくれ……」P81，平凡社〈上〉）

例【22】の文末の「了₂」は，これから起きてくる新現象や変化を表している。

2-2-3，後続文の条件を表す。

「了₂」は従属文の文末に置き，後続文の仮定などの条件を表す。次の用例見てみよう。

【23】乳房舒服了₂，女人才会舒服。女人舒服了₂，男人才会舒服。因此只有把乳房侍候舒服了₂，人类才会舒服。(P541 浙江文艺社)（乳房がご機嫌でこそ，女性のご機嫌，女性のご機嫌でこそ，男性のご機嫌なのです。ですから，人類がご機嫌になるためには，乳房にご機嫌になっていただくほかはありません。P306，平凡社〈下〉）

四角括弧で示しているように，例【23】では「了₂」は3回使っている。どれも従属文の文末に置き，後続文の仮定条件を表している。例えば，「女人舒服了₂」は，すなわち「女性のご機嫌になったら」といった意味となる。

【24】二姐说：“娘啊，他腿上流血不止，我要不去，他就得淌死了，他死[了₂]，女儿活着还有什么意思？娘，放我去吧……”（P113 浙江文艺社）（「お母さん、あの人は、足の血が止まらなく。行ってあげなかったら、死んでしまう。あの人が死んだら、わたし、生きているつもりはないの。行かせて、お母さん……」P203, 平凡社〈上〉）

例【24】四角括弧で示している従属文の文末の「了₂」は、後続文の仮定条件を表している。日本語版も「……たら」と訳されている。

【25】再说了，三老姨奶奶是人吗？她压根儿就不是人，她原本是白鸟仙子，因为啄了西王母的蟠桃被贬到人间的。现在，她的期限到[了₂]，自然是要回归仙位了。（P200 浙江文艺社）（それに、おばさんは人間だったと思いなさるか？まるで違いますぞ。あのお方は、もとをただせば白鳥仙女。西王母〔崑崙山に住む古代神話の女神。その屋敷の桃を食べると不老不死になれると言われる〕の桃を啄んだばかりに、人間界に追放されていましたのじゃ。こうして期限が来たからには、むろん仙人にもどらねばなりませんわい。P352, 平凡社〈上〉）

例【25】の四角括弧で示している「了₂」は、後続文との因果関係を表している。日本語もその通りに訳されている。

2-2-4, ある種の語気を表す

文末に置く「了₂」は、新状況や変化などの意味を表すのではなく、文末助詞のようにある種の語気を表す。このような「了₂」は文末助詞として分類する説もある。次の用例見てみよう。

【26】赵甲丁听完上官金童的讲述，感慨地说：“老兄，太美好[了₂]，这简直是一首诗，可惜的是，法律排斥一切的诗意。不过，如果我当时——算[了₂]，全是废话！你的刑判得太重[了₂]，当然，十五年熬过了

十四年，也就没有申诉的必要了。”（P465 浙江文艺社）（わたしの話を聞いた趙甲丁は、思いに耽りながら言ったものだ。「あんた、まったく美しい。まるで詩じゃないか。残念ながら、法律ってやつは、あらゆる詩心を排除するがね。ただ、かりにそのときばくが——いや、止そう。言っても無駄なことだ！それにしても、刑が重すぎる。むろん、十四年も頑張ったんだから、上告する必要もないがね」P173, 平凡社〈下〉）

四角括弧で示している例【26】の「了₂」は、新状況や変化を表しているのではなく、文末助詞のような働きを果たし、感嘆といったような語気を表している。

【27】“司马兄别来无恙！”鲁立人说，“距离司马兄驱我出境不过一年，想不到同样的命运落在了您头上。”司马库说：“六月债，还得快。不过，鲁兄的利息也算得太高[了₂]。”司马库道：“甭费唾沫了，给我个痛快的吧！”鲁立人道：“我们不想这么简单地处决你。”司马库道：“那就对不起[了₂]，我只好自己动手了。”（P236 浙江文艺社）（「司馬大兄には、その後お変わりもなく！」と魯立人が言った。「大兄が小生をこの地から追い出してわずか一年、おなじ運命が大兄の頭上を襲おうとは、思いもよらなかった」「六月の借金で、じき返したというわけか。ただ魯大兄の利息のほうも、かなり高くはついたようだが」「つべこべ言わずに、殺したらどうだ」と司馬庫が言った。「そう簡単にあんたを処刑するつもりはない」と魯立人が言った。「そんなら仕方ない。すまんが自分で片をつけさせてもらう」と司馬庫は言った。P416, 平凡社〈上〉）

四角括弧で示している例【27】の「了₂」も文末助詞のような働きをしている。感嘆や決心といったような語気を表している。

【28】马排长一跳，挡在她的面前，严厉地说：“大

姉, 我警告您, 如果您再前进一步, 就别怪我不客气了₂。”(P232 浙江文艺社) (跳び上がった馬小隊長は, 母親の前に仁王立ちになって, 厳しい口調で言った。「おかみさん。言っておくが, これ以上一步でも前に出たら, 容赦はしませんぞ」P409, 平凡社〈上〉)

例【28】の「了₂」は, 命令や禁止といった語気を表している。新状況や変化を表すものではない。

2-2-5, 文型上制約のため文末に置く「了₂」

「了」は述語の後, 目的語の前に置いて完了実現の意味を表すが, 一部の文型では目的語を述語の前に前置しなければならないので, 「了」は構文上の制約で文末にならざるをえない。次の用例見てみよう。

【29】他把我递还母亲, 羞愧地说: “我把他吓着了₂吧? 我把他吓着₂了。”(P67 浙江文艺社) (牧師はわたしを母親に返して, 恥じたように言った。「この子を恐がらせたかな? そうらしいな」P117, 平凡社〈上〉)

四角括弧で示しているように, 例【29】の「了₂」は文末に置いているが, これは「把」構文を使っているからである。「把」構文を使わないなら, 文末に置かなくてもよい。すなわち「我吓着₁他吧? 我吓着₁他。」のように, 「了」は述語のすぐ後に置き, 「了₁」の働きとなる。

【30】姜技师用那白火在圆冰上画了一个十字, 圆冰便分裂成四块。他用脚把那冰块往下压, 河水把冰块冲走₂。一个冰窟窿出现在河上, 蓝色的河水漫溢出来。(P97 浙江文艺社) (姜技師が, 白い炎で丸い氷に十字を描くと, 氷は四つに割れた。姜技師が足でそれを押し込むと, 河の流れがさらっていき, 氷の穴が河の上に出現して, 青い水がいっぱい上ってきた。P171, 平凡社〈上〉)

例【30】の「了₂」も「把」構文を使っているから, 文末に置いているのである。「把」構文を止めたら, 「了」は次のようになる。「河水冲走₁冰块」。すなわち「了」は述語の後, 目的語の前に置くのである。

【31】吕氏端坐在中央, 她的儿子和丈夫分坐在两旁。鲁璇儿不敢坐, 垂首立在桌子旁边, 等待着婆婆吩咐。“牲口喂上₂了吗?” “喂上了, 娘。”“鸡窝关上₂了吗?” “关上了, 娘。”(P592 浙江文艺社) (呂氏が真ん中に座り, 息子と亭主が両側だった。魯璇兒は姑の言いつけを待って, 立ったままである。「ロバの飼料は?」「やりました, お姑さん」「鶏小屋は閉めたかね」「閉めました, お姑さん」P392, 平凡社〈下〉)

四角括弧で示している例【31】では, 文の目的語を述語の前に移動して話題主語にしているため, 「了」は, 文末にならざるをえない。もし目的語を本来の位置に戻せば, 「了」の位置は次のようになる。「喂上₁牲口吗?」「关上₁鸡窝吗?」。すなわち「了」は述語の後, 目的語の前になり, 「了₁」になる。ただ, 目的語は述語の後に戻しても, 「了」は文末に置く場合が少なくない。

2-2-6, 述語の後には「了₁」, 文末には「了₂」を置く

「了」は話者や作者の表現の必要に応じて1つの文に2回使う場合がある。すなわち述語の後には「了₁」, 文末には「了₂」を置く。「了₁」は完了実現, 「了₂」は変化や新状況の出現を表す。次の用例を見てみよう。

【32】“娘, 大姐说, “这是关系千军万马的大事, 您别犯糊涂啊。”母亲说: “我糊涂₁半辈子₂了, 千军万马万马千军我都不管, 我只知道枣花是我养大的, 我舍不得给别人。”(P156 浙江文艺社) (「お母さん」と姉は言った。「バカ言わないでよ。大戦争にかかわる重大事なんだから」「ああ, わたしゃこれまでバカ

だったからね、大戦争だか小戦争だか知ったことじゃないが、この子はわたしが育てたんだから、他人にやる気はないね」P278, 平凡社〈上〉)

四角括弧で示しているように、例【32】では、述語の後には「了₁」、文末には「了₂」を置いている。

【33】公狼说：‘俺要真跟你拼命，你也未必能赢！看看吧，你的牙齿都松动了，牙龈也烂了，化[了₁]脓[了₂]。’公狼说着，把溪边一根胳膊粗的棍子一口咬断了。(P398 浙江文艺社) (雄の狼がぬかした、おれが本気がかかったら、あんただってそうそう勝てやせんぞ！見ろ、あんたの歯はぐらぐらし、歯茎は爛れて膿んでおるではないか。そう言いながら、谷川のほとりにあった人間の腕ほどもある棒を一口で噛み砕いた。P60, 平凡社〈下〉)

四角括弧で示しているように、例【33】も2回使っている。「了₁」は完了実現、「了₂」は変化や新状況の出現を表している。

【34】政委对护兵挥挥手。护兵虎虎地上前，一边一个夹住了王木根。王木根大声叫：“你们推完磨就杀驴吃，忘[了₁]我爆炸铁甲列车的时候[了₂]。”(P150 浙江文艺社) (政治委員が護衛兵のほうに手を振ると、彼らはさっと進み出て、王木根を両脇から挟みつけた。王は大声で、「てめえら、白碾きが終わるとロバを殺して食らうようなマネをしきさって。おれさまが装甲列車を爆破したことを忘れたか！」P268, 平凡社〈上〉)

四角括弧で示しているように、例【34】では述語の後にも文末にも「了」を置いている。

【35】他问：“爹，怎么啦？”他爹愁眉苦脸地说：“断[了₁]车轴[了₂]，孩子。”爷儿俩合力，把高大沉重、箍着铁皮的车轮拖出来。(P276 浙江文艺社) (「お父、どうした？」——親子だった。父親が困り果て

た顔で言った。「車軸が折れやがったんだよ、おまえ」親子二人がかりで、鉄輪をはめた大きく重い車輪をはずした。P489, 平凡社〈上〉)

四角括弧で示しているように、例【35】も述語の後と文末の両方に「了」を置いている。

Ⅲ、文学作品における「了」使用の傾向と特徴

第2章では、文学作品の《豊乳肥臀》におけるアスペクト助詞「了」の用例について考察した。この章では文学作品における「了」使用の傾向や特徴について考察する。第2章の用例が示しているように文学作品における「了」は明らかに次のような幾つかの傾向や特徴が見られる。

第1に、文学作品では文中の述語に置く「了₁」は、文末に置く「了₂」より多く使われている。莫言の《豊乳肥臀》の作品は617頁の構成となっているが、筆者の手作業の統計では、アスペクト助詞「了」が全体で6165回使われている。そのうち「了₁」は4170回使われ、およそ「了」全体の67.6%を占めている。この数字が示しているように、文学作品においては、文中の述語に置く「了₁」は7割近く占めているのが分かる。このことは、「了」は文中の述語に置いて動作行為の完了実現を表すのがもっとも基本的な機能であることが分かる。したがって、教育の現場においても研究においても、この点を十分に認識する必要があるだろう。もう少し用例を見てみよう。

【36】他强忍着一阵急似一阵的心跳，向那圣洁的七层宝塔走去。他远远地就看到[了₁]，一个白发苍苍的老人，手扶着一根用旧伞柄改成的拐杖，站在塔前，向这边张望着。他感到双腿沉得几乎拖不动[了₂]，泪水不可遏止地往外涌。母亲的白发与塔上的枯草一样，猛然间也变成[了₁]燃烧的火苗子。他哽咽着喊[了₁]一声，便扑到[了₁]母亲前面，跪下，脸贴在母亲凸出的大膝盖上。他感到自己像沉入[了₁]深深的水底，所有

的声音、所有的颜色、所有的物体的形状都不存在了₂，只有那种从记忆深处猛烈地泛起来的乳汁的味道，占据了他₁全部的感觉。(P474 浙江文艺社) (次第に高鳴る胸の鼓動を抑えながら、わたしは、神聖な七層の宝塔へと歩いて行った。遠くから、白髪姿が見えた。古い傘の柄を杖のかわりに手について、塔の前に立って、こっちを見ている。ほとんど動かなくなるほど、両足が重く感じられ、涙が止めどもなく溢れた。母親の白髪が、塔の枯れ草と同様に、たちまち燃える炎と化した。わたしはむせびつつ一声叫んで、母親の前にバツリと跪き、突き出したその膝に顔をすりつけた。自分が深い水底に沈み込んだようで、物音や色、物の形、すべてがなにもかも消え失せてしまったようで、記憶の奥底から猛然と浮かび上がってきた乳の味だけが、感覚のすべてを占拠した。P190, 平凡社〈下〉)

四角括弧で示しているように、例【36】では、文中述語に置き、動作行為の完了実現を表す「了₁」は6回使われている。文末に置き、変化や新状況の出現を表す「了₂」は2回しか使われていない。

第2に、文学作品においては、文末に置いて変化や新状況の出現を表す「了₂」は、文中の述語に置く「了₁」より少なく使われている。莫言の《豊乳肥臀》では、文末に置く「了₂」は1995回使われ、文中述語後の「了₁」に比べると、使う頻度がかなり低く、「了」全体のおよそ32.4%しか占めていない。すなわち文学作品においては、文中述語の「了₁」はおよそ7割、文末の「了₂」はおよそ3割という調査結果となっている。これも「了」使用の特徴の1つであると言えよう。次の用例を見てみよう。

【37】 内外传来山羊的鸣叫，随即门板被撞开，我家那匹与我同日出生的小骡子从门缝里伸出它秀丽的头颅。毛驴暴躁，炮着蹶子。母亲说：“快把小骡放进来。”马洛亚跑过去，用力推着小骡的头让它后退，放松了₁被绷紧的闩铁链，摘下挂钩，急闪到一边，

小骡子冲了₁进来，钻到毛驴腿下，衔住了₁毛驴的奶头。毛驴顿时安静了₂。母亲感叹道：“人畜一理啊！”马洛亚点着头，表示他赞同母亲的见解。(P69-70 浙江文艺社) (門の外から山羊の鳴き声が聞こえ、すぐつづいて門扉が突き開けられて、わたしとおなじ日に生まれたわが家のラバの子が、隙間から整った頭をのぞかせた。後足を蹴りつけて、ロバが暴れる。「早く入れてやって」と母親が言うと、マローヤ牧師が飛んで行った。ラバの子の頭を力をこめて押しもどし、ぴんと張っていた門扉の鉄の鎖をゆるめておいてから、留め金はずし、躰をさっと開くと、ラバの子が飛び込んできて、母ロバの足の下にもぐり込み、乳首にかじりついた。「人畜に変わりはないねえ!」と母親が感嘆すると、牧師はうなずいて賛意を示した。P123-124, 平凡社〈上〉)

四角括弧で示しているように、例【37】では、文中述語に置いて動作行為の完了実現を表す「了₁」は3回使われているが、文末に置いて変化や新状況の出現を表す「了₂」は1回しか使われていない。

第3に、文末に置く「了₂」は、変化や新状況出現の意味を表すが、「了₂」の深層にはやはり動作行為の完了実現の意味があり、この完了実現の意味と切っても切られない関係となっている。したがって、文末の「了₂」は別の解釈をすれば、「完了実現」の一種であると解釈してもよいであろう。また「了₂」を使っている文には、自動詞で述語を構成したり、目的語を話題主語として述語の前に置いたりする場合が少なくない。すなわち、文の構造的な制約で「了」は文末に置かざるを得ない場合があり、必ずしも変化や新状況の出現の意味を表すためではないのである。次の用例を見てみよう。「了₁」も「了₂」も多く使われている。

【38】他感到山人的胡子越来越滑溜。娜塔莎乳房上的鲜血流到山人胡子上。他双手不停地倒换着。血染红了₁手。山人扔掉桃木剑，腾出双手，揪住了₁

上官金童的耳朵, 使劲往两边拉开。上官金童的嘴不由自主地裂开[了₂]。他听到母亲和大姐的惊叫声。他死也不能放开山人的胡子。他们俩在院子里转起圈子来[了₂]。母亲和大姐也随着他们转起圈子来[了₂]。上官金童的脚被什么东西拌[了₁]一下, 妨碍[了₁]倒手的速度。山人利用这机会一口咬住[了₁]上官金童的手背。上官金童完全处于[了₁]劣势。他的双耳快要被山人连根拔出[了₂] , 他的手背被山人啃到骨头[了₂]。他痛苦地哀号[了₂]。他心中的痛苦胜过[了₁]皮肉之苦。他眼前一团模糊。他绝望地想到[了₁]娜塔莎。娜塔莎被山人吞[了₂] , 正在被他的胃液腐蚀着。山人的带刺的胃壁无情地揉搓着她。他的眼前由模糊变得像墨斗鱼的肚子一样乌黑[了₂]。(P385-386 浙江文艺社)(馬山人の髭がぬるぬるしてきた。ナターシャの乳房の血で髭が濡れたのだ。両手を絶えず交替させていると、手が血に染まる。桃木剣を投げ捨てた馬山人が、空いた両手でわたしの耳を掴み、力こめて左右に引っ張ると、口が思わず横に裂ける。母親と大姐が悲鳴を上げるのが聞こえた。わたしのほうも、死んでも髭を放さない。その理由は言うまでもない。二人は中庭をぐるぐる回り始めた。なにかに蹴躓いた拍子に、手の動きが鈍った。その隙に、馬山人がわたしの手の甲に噛みついた。完全に劣勢に立たされた。耳はもうじきもがれそうだし、馬山人の歯は手の甲の骨まで届きそうだ。痛さに叫び声を上げたが、心の苦痛は肉体の苦痛にはるかに勝った。目の前がぼやけ、絶望的にナターシャのことを思った。彼女は、この男に呑み込まれ、いまその胃液の中で腐食され、棘のある胃壁で無慈悲に擦り潰されているのだ。ぼんやりとしていた目の前が、烏賊の腹の中のように真っ暗になった。P37-38, 平凡社〈下〉)

四角括弧で示しているように、例【38】では、「了₁」も「了₂」も多く使われている。文中の述語に置く「了₁」は8回、文末に置く「了₂」は8回使われている。文末に置く「了₂」は変化や新状況の出現の意味を表すが、その根底には「了₁」の動作行為の完了実現とつながっている。

第4に、1つの単文において文中の述語に「了₁」、文末に「了₂」を置く用例は文学作品では予想よりはるかに少ないのが分かった。莫言の《豊乳肥臀》の作品では、文中述語にも文末にも「了」を置いている用例はわずか88例だけで、「了」用例全体の1.4%しか占めていない。この調査結果はきわめて重要である。われわれの日頃の教育現場において、多くの時間を使って1.4%しか占めていない用法を説明するよりも、98.6%を占めている用法を時間をかけて重点的に説明すべきであろう。

第5に、アスペクト助詞「了」は、動作行為の完了実現、変化や新状況出現の意味を表すが、これらの行為や現象は必ずしもすでに終了したあるいは出現した過去のことでなく、これから終了するあるいは出現する、いわば未来に起きることを表す。文学作品においては、このような用法は見られるが、頻繁に使うものではない。筆者の手作業統計では、《豊乳肥臀》の作品にはわずか65例しかなく、およそ「了」全体の1%占める程度である。次の用例を見てみよう。

【39】 司马粮道：“我去跟爹说说，毙[了₁]这个灰孙子。”(P215 浙江文艺社)（「お父に言ってやるよ、あのろくでなしを銃殺にしてくれって」P376, 平凡社〈上〉）

四角括弧で示しているように、例【39】の「了₁」が表している動作行為はすでに完了実現したのではなく、これから起きる行為になる。いわば未来の動作行為になるのである。

第6に、アスペクト助詞「了」は、文中の述語あるいは文末に置いて後続する文の条件を表す。文学作品においてもこのような用法が見られる。用例がそれほど多くないのが調査で明らかになった。《豊乳肥臀》の作品ではわずか138例しかなく、およそ「了」全体の2.2%を占める程度である。次の用例を見てみよう。

【40】还有那么多的人吃力地往这边走。我看到了母亲和大姐，还有我们家的孩子，还有我的羊。母亲忘没忘给它带上奶罩呢？如果忘「了₂」，它就要吃苦了，积雪没人膝，它的奶头一定要蹬着雪走了，从我家到高地近十里路程，它如何受得了呢？（P304 浙江文艺社）（それでもなお、大勢の人間が、歩きにくそうにしながらこっちに向かってくる。母親に大姐，それにわが家の子供らやわたしの山羊が見える。山羊に乳当てをしてやるのを，母親は忘れはしなかっただろうな？ 忘れたら，山羊が可哀想だ。人の膝を没するこの雪だから，やつの乳房は雪の中に埋まっているに相違ない。家から高台まで十里近い道を，それでは堪ったものではないぞ。P537，平凡社〈上〉）

四角括弧で示しているように，例【40】の「了₂」は後続文の仮定条件を表している。

おわりに

以上，文学作品の《豊乳肥臀》におけるアスペクト助詞「了」について考察してきた。これらの考察を通じておよそ下記のような点がまとめられよう。

1，文学作品においては，文中の述語に置く「了₁」は圧倒的に多く使われ，およそ「了」全体の7割を占め，文末に置く「了₂」は「了」全体の3割しか占めていない。今回の調査研究で明らかになったのがこの7対3の割合で使用していることである。

2，文中の述語に置く「了₁」は動作行為の完了実現の意味を表し，文末に置く「了₂」は変化や新状況出現の意味を表す。このもっとも基本的な用法は文学作品に置いてもおなじである。

3，文中の述語に置く「了₁」の表す動作行為の完了実現，文末に置く「了₂」の表す変化や新状況の出現は，必ずしもすでに終了したものあるいは出現したものではなく，これから起きるものになる。いわば未来の完了実現，未来の変化や新状況出現の意味を表す。文学作品に置いて，このような用法が見られる。今回の調査研究では，その使用頻度はそ

れほど多くなく，およそ「了」全体の1%しか占めていないのが明らかになった。

4，文中の述語にも文末にも「了」を置く用法は，文学作品においても見られるが，それほど頻繁に使われていないのが今回の調査研究で明らかになった。《豊乳肥臀》においては，その用例はおよそ「了」全体の1.4%しか占めていない。

5，「了₁」も「了₂」も後続文の仮定や因果関係などの条件を表す用法がある。文学作品の《豊乳肥臀》においては，その用例はおよそ「了」全体の2.2%を占める程度であるのが明らかになった。

6，「了」の表す意味は，文中の述語に置くにせよ，文末に置くにせよ，その根底には完了実現の意味が存在している。仮定条件を表す場合も未来の完了実現や未来の変化を表す場合も同じで，その根底には完了実現の意味がある。したがって，教育現場においてはこの点を十分に認識し，注意を払う必要がある。

注

- 1) 一般的に文中の動詞，形容詞の後に置く「了」はアスペクト助詞とされるが，「後綴」「詞尾」とする説もある。また，文末に置く「了」は語気助詞とする説も少なくない。本論では語気助詞を設けずに統一してアスペクト助詞と呼ぶ。また，従属文，単文の末も文末とする。
- 2) 「政論文体におけるアスペクト助詞「了」について」，『立命館文学』第667号，2020，194-196頁。
- 3) 本論で調査した《豊乳肥臀》中国語原文は，浙江文艺出版社が2017年に出版したものによる。
- 4) 本論に引用した例文の日本語訳は，吉田富夫訳，平凡社2014年に出版した日本語版《豊乳肥臀》による。

参考文献

- 1，文楚雄，「政論文体におけるアスペクト助詞「了」について」，『立命館文学』第667号，2020。
- 2，武村朝吉，「「了₂」について」，沖繩キリスト教学院大学論集 第12号，2016。
- 3，盛文淵 吉本啓 佐藤滋，「中国語におけるテンスの

- 解釈 —アスペクトとテンスの相関性から—, 言語処理学会年次大会発表論文集, 2006。
- 4, 木村英樹, 「動詞接尾辞“了”の意味と表現機能」, 『中国語学論文集: 大河内康憲教授退官記念』, 東方書店, 1997。
 - 5, 劉月華・蔣文娛・故韦華, 『实用現代漢語語法』, 外語教学与研究出版社, 1983, (相原茂監訳, 『現代中国語文法総覧』くろしお出版, 1994)。
 - 6, 呂叔湘 主編, 『現代汉语八百詞』 商务印书局, 1980。
 - 7, 胡裕樹, 『現代漢語』, 上海教育出版社, 1981。
 - 8, 張静, 『新編現代漢語』, 上海教育出版社, 1980。
 - 9, 邵敬敏, 『漢語語法学史』, 上海教育出版社, 1990。
 - 10, 中国語文雜誌社編, 『語法研究和探索』, 語文出版社, 1992。
 - 11, 『語文研究』, 1984-1994, 語文出版社。
 - 12, 文楚雄, 「中国語のアスペクト助詞『了』」, 『政策科学』外国語教育研究特集号, 1995。

About the Aspect Particle “le” in Literary Works:
Focusing on the Nobel Prize-Winning Writer Mo Yan’s “Big Breasts and Wide Hips”

NAKAFUMI Soyuⁱ

Abstract : This paper discusses the aspect particle “le” in the Nobel Prize-winning writer Mo Yan’s work “Big Breasts and Wide Hips.” “Le” is a grammatical element that learners of Chinese language find very difficult to master. The aspect particle “le” is used to express the meaning of completion or realization, but since this “le” can be placed in the predicate in the sentence or at the end of the sentence, it is very difficult to decide where to put it. Many researchers have discussed this from different perspectives and published countless papers. However, unfortunately, it is difficult to say that these studies have been elucidated in a way that they can be easily applied by learners. “Le” is still a difficult problem for learners and researchers. The use of “le” in literary works is wide-ranging and is the most typical usage. I believe that studying the usage of “le” in literary works and clarifying the usage tendencies and characteristics will lead to the elucidation of “le” as a whole.

Keywords : aspect particle, “le”, completion / realization, appearance of a new situation

i Professor, College of Social Sciences, Ritsumeikan University